

<p>伝道弟子祈りといやし(マタイ 26:41)</p> <p><b>*序論-今、第一に直さなければならぬ病氣3つは何か</b>          ①無能②貧困③霊的問題この三つをいやすのが重要ないやしだ。  <b>1.いよしの根本-ただ</b>          (1)ゼカリヤ 46. 権力でもたため、能力でもたためたが、神様の力によってできる。          (2)ヨエル 2:28. 水を注ぐように-聖霊を注ぐだろう。          (3)使徒 1:8. ただ聖霊に満たされるれば-そのときは、力を受けて地の果てまで証人になるだろう。  <b>2.いよしの方法-集中訓練</b>  <b>▲私が経験したことでは3段階だ。</b>  <b>▲最初の段階-教会ですの。</b>          (1)使徒 1:14(10日間)-キリスト、神の国を背景にして集中的に祈り始めた。          (2)使徒 2:42. 使徒の教えを受けて(みことばを聞いて)、そのみことばを持って話(交わり)、救いと救われた人がどれくらい重要なのか知るようになる(パンを裂きながら)。そうすれば、他のものを見る必要がない(ただ祈り)          (3)使徒 6:1-7. こういう人が重職者になるからエルサレム全域で働きが起きた。          (4)使徒 11:19. この役割をだれかする人だけいるならば教会は生かされる。          (5)使徒 12:1-25. 危機に会って祈ったのではなく、神様の恵みを受けた初代教会は当然したのだ。          (2)現場-集中訓練2段階が現場だ。          (1)使徒 13:1-12 (2)使徒 16:16-18 (3)使徒 19:8-20  <b>▲これを見てしまわなければならない。今はうわべを見ずに内容を見なければならぬ。見れば変わる。</b>          (3)派遣(確立)  <b>▲この人が他の人を生かす弟子(キリスト、教会の弟子)として派遣される段階まで訓練が必要</b>          (1)コロサイ 4:1-18 (2)コリント 16:14-24 (3)ローマ 16:1-27 節のような人物をたてるのがパウロの働きで、私たちの働きだ。ここまで集中になるように訓練をしてあげなければならない。  <b>▲この運動は伝道弟子が実際にしなければならないが、先に立つことは副教役者が目を開かなければならない。これが言葉で表現しようとするなら3つの集中訓練、3つの必須、3つのいよしだ。</b>  <b>3.病氣のいよし-集中祈り</b>  <b>▲今はこのようにするならば必ず残るものが一つ出てくる。病氣のいよしと集中祈りだ。こうするならば</b>          (1)肉体的病氣(使徒 8:4-8)-イエス・キリストに対することを専念して話したということが出てくる。霊的な部分と言ったことだ。          (2)霊的問題を持った病人  <b>▲使徒 19:10-20. 2年間、神様のみことばを集中的に伝えるのにみんなが聞いたと言われている。ここで止めることができない働きが起きた。</b>          (3)精神病人-教会の他には人が行くところがないのだ。使徒 16:16-18. 3日だがパウロチームが集中したということが出てくる。  <b>*結論-参考にすることがある</b>          (1)環境変化で来る瞑弦反応がある。          (2)そして一気にみわざが起きたものもある。          (3)この三つ問題(3番)の中で長期の働きをしなければならぬ人がある。  <b>▲ここまででならなければならない。祈りといよしだ。</b></p>	<p>70人重職者と祈りチーム(使徒 2:42)</p> <p><b>*序論</b>          重職者は一つだけ上手にすれば良い。重職者と祈りチームだ。重職者は、まことの感謝から出てこなければならない。伝道のために重職者として立てられて訓練を受けるのは他のところにはないだろう(唯一性)。これ自体だけでも私たちはあまりにも感謝する。  <b>▲祈りチーム-単なる祈りではない。韓国に40万弟子、40万重職者が起きて伝道運動したらどうなるだろうか。神楽はまず最初に重職者に①経済②健康③次世代とレムナントを祝福されるだろう。</b>  <b>▲聖書に現れた重職者は、祈りの課題をどのように握ったのか。</b>  <b>1.生死をかけた祈りの題名</b>          (1)出3:16-18. 羊の血を塗る日、出てくるといいなさい。最も重要なのは長老たちに話して、長老が祈りチームをつかってすべての国民に話すようにいなさい。エジプトの奴隷時代に長老たちがこの話を聞いて完全に生死をかけた。神様は10の奇跡を起こされた。すべての重職者は、生死をかけた祈りの課題を捜し出さなさい。          (2)ヨシュア 3:1-13. つかきたちと長老を立て起して、ヨルダン川を渡るようにいなさい。契約の箱を担いだ祭司について行けと言いなさい。このとき、記念碑的な祝福を与えられた。          (3)ヨシュア 6:1-20. エリコを倒さなければならない。契約の箱を担いだ人について回りなさい。すでにエリコのすべての軍人、將軍たちの心はなえしてしまつた。          (4)列王 18:1-6. 重職者オバデヤはアハブ王の代行だ。ところでこの人が伝道者だ。預言者100人の命を助けた。後ほど7000人の弟子が起きた。          (5)ダニエル 3:8-24. 一般信徒であり、重職者であるシャデラク、メシャク、アベデ-ネゴだ。          (6)ダニエル 6:10. 重職者ダニエルが死ぬかと思つても祈った。生と死をかけた祈りだ。          (7)使徒 1:14. ここに重職者が集まつたが、ここは完全に生死をかけたので、生死をかけた祈りの課題だ。使徒 7:1-60 ステパノ、使徒 12:1-25 の特徴が、生と死をかけた祈りの課題を握ったのだ。  <b>▲結果を知っていたので、生と死をかけたのだ。だれがなんでも、伝道者を通して、伝道運動する教会と人を通して、時代を福音化するようになっている。それでこの祝福を分かちあえる祈りチームをつつたのだ。</b>  <b>2.祈りチーム-理由</b>          (1)出エジプト(奴隷)-出エジプトさせる。私たちの教団だけでも、今、教会が全部奴隷のように縛られているので、解放させなければならない。          (2)神様が荒野の道で勝利させる。          (3)カナンの入国を確かにするようになる。カナンの7部族と31人の王を滅ぼすようになる。          (4)バビロン征服-神様がイザヤをはじめとする人々にバビロン征服という確かな答えを与えられた。          (5)ローマ征服-重職者が知っていた。聖霊が知らせられた。ローマ征服。  <b>3.実践しななければならないことを開始(使徒 2:42)</b>          (1)朝の祈り活用-弟子たち          (2)金曜徹夜祈り-多様な多様な人          (3)聖日終わった祈り会-すべての人(聖霊の火がつくように)  <b>▲多くの重職者の方が起きて、すべての教会員が答えを受けるようにさせなければならない。</b></p>	<p>ミッションホーム祈りと個人適用</p> <p><b>*序論</b>  <b>▲祈りチームが作られれば、必ず個人とかチームが会うようになる。祈りと個人適用だ。実際にこの人が祈れるようにさせてあげなければならない。</b>  <b>1.祈り訓練の開始</b>          (1)接近(黙想)  <b>▲ひとまず人にある最もやさしいこと、最も神様のみこころに合うことを持って近づく</b>          1)健康-健康を持って近づく          2)頭脳-レムナントが一番難しいことが勉強だ。それで頭脳に力を与える接近が重要だ。          3)力-そして一般の人は良くできなくてそのようにする。力が必要だ。  <b>▲近づくときに一番良い単語が黙想だ。聖霊の中でみことばの中に深く入る黙想だ。いよし、頭脳、力がみな回復する。</b>          (2)モデル提示-私はこのように祈る!          1)聖霊の満たしと5つの力の一つずつ置いて深い呼吸しながら祈り          2)権威-そして、神様がくださったものすごく大きい権威。          3)伝道-私は伝道の他には祈りの課題はない。  <b>▲4万、40万、1千万、RUTC、全世界ミッションホーム、各教会、全地域にいる私たちのメンバー、全世界地図を旅行するのだ。</b>  <b>▲集中-そして特別な問題がある時はその部分を集中的に祈る。私はこのように祈る。</b>          (3)方法          1)最も心安らかにいなさい。          2)この時間に最も幸せな夢とビジョンを持ちなさい。          3)力-この二つを通して力が確言されなければならない。  <b>▲集中-というのは特別なことがある時だ。平安、幸せ、力を得るように祈るのは1-(2)番をするのだ。このようにしながら、残りはずっと心安らかにするのだ(24時)。</b>  <b>2.3つ変わる事が生まれる。</b>          (1)考え-考えが変わる。問題が問題として見えず、むしろチャンスだと見える。          (2)体質-こういうことで体質が変わる。疲れることがすべてなくなって、霊的問題がいやされ始める。          (3)位置-この時から私の位置が変わってしまう。  <b>3.必ずすること</b>          (1)傷-霊的土台  <b>▲傷を全部祈りを通して霊的土台にいなさい。祈りの力がなければできない。</b>          (2)今の問題-更新  <b>▲そして今の問題は必ず更新の機会だ。</b>          (3)限界-超越  <b>▲いつも祈りの力を味わいながら私の限界を超越。</b>  <b>*結論-なりたつこと3つ</b>          (1)祈りが成り立つ-ガラテヤ 2:20          (2)伝道が成り立つ-あらゆる分野、経済、教会、すべての部分に復興が訪れる。          (3)みことば-幸せ  <b>▲この時から3つの今日であるみことばが成就する。そうすれば、私が幸せを味わうようになる。</b>  <b>▲みなさんに会う人が祈りに対して習えば、何かとも力があって、幸せな人になる。</b></p>	<p>専門の働き-点検-確信したことにとどまりなさい(Ⅱテモテ 3:14)</p> <p><b>*序論</b>  <b>▲専門の働きの部分には少し点検しなければならない部分。Ⅱテモテ 3:14 節を見れば「学んで確信したところにとどまっていなさい」私たちは、神様を信じる人々だからこういう部分にすぎない重要な答えが未来と関連がある。</b>  <b>1.教会点検</b>          (1)全教会員祈りチーム-全教会信徒の祈りチームを作りなさい。ここで、みなさんが少し注意しなければならないことがある。人はだれでも利益にしたがって動く。そして悪い人であるほど自分に助けになる人が好きだ。想像以上に、教会の信徒は教会、教役者、重職者を誤解している。みなさんがこれを解く役割をしなければならぬ。想像以上に教会の信徒は牧師先生の講壇メッセージととも遠くにいる。近づけてあげなさい。みなさんが今から行って全教会員が神様の恵みを受ける祈りチームを作らなければならない。          (2)教会員みことば伝達-その理由は、全教会の信徒にみことば伝達ができなければならない。講壇のみことばが生きて、全教会員に伝えられなければならない。          (3)教会員関心伝達-教会員に牧師と重職者、特に牧師の関心が伝えられなければならない。          (4)教会員伝道チーム-こうしながら、教会員を伝道チームにしなければならぬ。          (5)教会の霊的雰囲気-みなさんがこの役割をしてあげなければならないのは、教会の霊的雰囲気がとても重要だ。  <b>2.教会点検</b>          (1)伝道専門訓練-本当に伝道の実がある人へ-          1)講師資格証明を与えなさい          2)宣教師資格証明を与えなさい          3)神学生にもそのようにしてあげなさい。  <b>▲その人が開拓を始めたが、本当に実が出ていなければ、活動費を支援しない。ここに本当に祈る後援者が集まりなさい。私が考えるときに、未自立教会を生かせる方法を捜し出さなければならない。</b>          (2)神学院、宣教師訓練院、専門の働き訓練院          1)未信者が救われて、みなさんのゆえに弟子になることができるようにさせてみなさい。          2)教会復興-このようになれば、教会復興する。          3)現場祝福-このようになってこそ、みなさんのゆえに現場が生き返る祝福を受けようになる。          (3)レムナントデー          1)祈り組織-レムナントが祈りしても、できなくても祈り組織を組みなさい。レムナント1人もがしてはならない。          2)学業組織-学業を正しくするように学業組織          3)奨学組織-各地域ごとにレムナントが起きるようにレムナント自体で奨学組織を組みなさい。  <b>3.総会</b>          (1)改革教団が最高の教団だ。それで私は最大の教団になるようにお手伝いする。          (2)全国教団伝道キャンプ-改革教団中心に全国教団伝道キャンプを始める。          (3)世界教会キャンプ-これから改革教団を通じて世界大会を主導する世界教会キャンプをするようにお手伝いするだろう。  <b>▲神楽には不可能がない。私たちは終わったが、神楽は始められる。がんばることより神様のみこころとおりにしなければならぬ。</b></p>
--	---	---	---